2025年度

恵泉女学園中学校 第1回 入学試験問題

算数(45分)

(全8ページ)

- 注意 1. 試験開始の指示があるまで、中を見ないこと。
 - 2. 試験開始の指示と同時に、問題用紙と解答用紙にそれぞれ 受験番号と氏名を記入すること。
 - 3. 解答用紙には答えのみを書くこと。
 - 4. 円周率は、3.14とします。

受験番号	氏	名	

1 次の にあてはまる数を求めなさい。

(1)
$$\left(2\frac{1}{5} - 1\frac{5}{6}\right) \div 0.11 - 1.75 \times \frac{6}{7} = \boxed{}$$

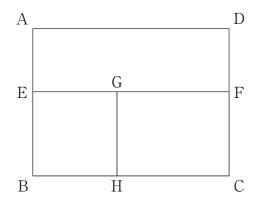
(2)
$$\left(3 - 1\frac{7}{12}\right) \times 0.375 \div \left(\frac{1}{9} + \frac{1}{8}\right) = \boxed{}$$

(3)
$$2\frac{2}{3} \div \left\{17 - \frac{5}{2} \times \left(+ 1.2 \right) \right\} = \frac{1}{4}$$

2 次の問いに答えなさい。

(1) 原価 150 円の商品を 100 個仕入れ,原価の 2 割の利益を見込んで定価をつけたところ,いくつかの商品が売れ残ってしまいました。売れ残った商品を定価の 5%引きで売り切ったところ,全体の利益は 2685 円でした。定価で売った商品の個数を求めなさい。

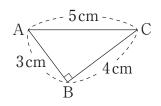
(2) 下の図で、四角形 EBHG は正方形で、四角形 ABCD と四角形 GHCF はどちらも 縦と横の辺の長さの比が 3:4 の長方形です。辺 AE の長さが $\frac{15}{4}$ cm であるとき、 辺 AD の長さを求めなさい。



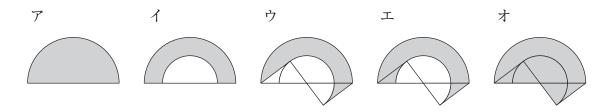
(3) 線路に沿った道を、自転車に乗り毎時 15 km で走っている人がいます。この人は、16 分間隔で運行している電車と 12 分おきにすれ違います。この電車は毎時何 km で走っているか求めなさい。

(4) 4けたの整数の中で、1.4をかけても1.4でわっても答えが整数になる最も小さい数はいくつですか。

(5) 辺の長さが3cm, 4cm, 5cmの 直角三角形 ABC があります。 この直角三角形を, 点 A を中心と して反時計回りに180°回転します。 次の問いに答えなさい。

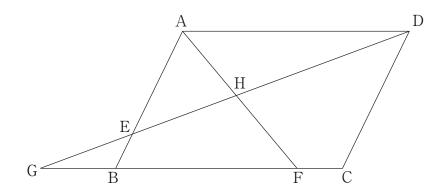


① 次のア〜オのうち、辺BCが通過する部分に色を塗ったものとして正しいものはどれですか。



② 辺BC が通過する部分の面積を求めなさい。

3 下の図の平行四辺形 ABCD において、点 E は辺 AB 上、点 F は辺 BC 上にあり、AE: EB = 3:1、BF: FC = 4:1です。DE の延長と辺 CB の延長の交点を G、AF と DE の交点を H とするとき、次の問いに答えなさい。



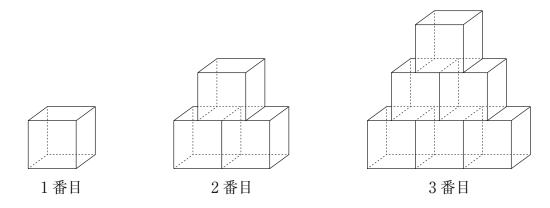
- (1) 次のそれぞれの比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。
 - ① GH: HD

② GE:EH:HD

(2) 三角形 ABF の面積は平行四辺形 ABCD の面積の何倍ですか。

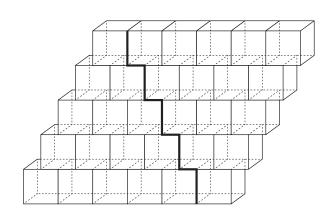
(3)	三角形 AEH の面積は平行四辺形 ABCD の面積の何倍ですか。
(4)	四角形 EBFH の面積が 24.9 cm ² であるとき、平行四辺形 ABCD の面積を求めな
	さい。

4 1 辺が 1 cm である立方体を、下の図のようにある規則に従って積み重ねます。 次の問いに答えなさい。



- (1) 3番目の立体の表面積を求めなさい。
- (2) 5番目の立体の表面積の求め方を次のように考えました。下の ア , イ に入る数を答えなさい。

「5番目の立体を左・右・真上・真下から見たときの面積はそれぞれ r cm^2 $です。また、5番目の立体を2つ用意し、下の図のように重ね合わせると、真正面から見たときの面積は<math>\left(5+\begin{array}{c|c} I \end{array}\right) \times 5$ と表せます。よって、求める立体の表面積はr $\times 4+\left(5+\begin{array}{c|c} I \end{array}\right) \times 5$ のように計算できます。」



(3)	95番目の立体の表面積を求めなさい。
(4)	1番目から60番目までの立体の中で、表面積が8の倍数になる立体はいくつあるか

求めなさい。

- 5 食塩水が入った3つの容器 A, B, C があります。これらに次の3つの操作を1から 順番に行います。
 - 操作 1:A から、A に入っている食塩水の重さの $\frac{2}{5}$ よりも 20 g 少ない量の食塩水をくんで B に入れる。
 - 操作 2: B から、B に入っている食塩水の重さの $\frac{1}{2}$ よりも 70 g 多い量の食塩水をくんで C に入れる。
 - 操作3: C から、C に入っている食塩水の重さの $\frac{1}{4}$ よりも 40 g 少ない量の食塩水をくんで A に入れる。
 - 3つの操作を行った結果、A は濃さ 10%の食塩水が 700 g、B は濃さ 15%の食塩水が 320 g、C は濃さ 7.5%の食塩水が 760 g となりました。次の問いに答えなさい。
 - (1) 操作3で、Cからくみ出した食塩水の重さを求めなさい。
 - (2) 操作2で、Bからくみ出した食塩水の重さを求めなさい。
 - (3) 操作1で、Aからくみ出した食塩水の重さを求めなさい。
 - (4) はじめに容器 A. B. Cに入っていた食塩水の濃さと重さをそれぞれ求めなさい。